

留学を終えて

恵那高等学校 保方玲（アメリカ合衆国）

留学中は毎日多くの人と出会い、多くの自分の母国ではできない経験をしました。私が最も成長したと思う点は、問題解決能力です。

私は、数学、バンド、工学基礎、英語、公共、ウェイトトレーニング、電子工学、アメリカ史の授業を選びました。課外活動では、マーチングバンドとロボティクスに参加しました。工学の授業やロボティクスでは、自分が将来実際に必要になる、実践的な工学に対する知識や問題解決能力が成長したと思います。例えば、ロボティクスでは、12vの信号線を持つセンサーを5vのマイクロコントローラーに接続しなければならないという問題があったとき、チームメイトと話し合いながら、回路を作り解決しました。また、それ以外の生活の中でも、自分が知らない環境の中で、時にはわからない言葉も多くありましたが、自分が何をすればよいのかを考え続けながら生活できました。



もう一つ成長したと思う点は、さまざまな考え方を受け入れることです。アメリカには日本と違い、様々な国から来た人々がいます。アメリカ人のルーツも様々です。そのため、多くの考え方、文化、生活習慣が存在します。自分の意見と異なることを聞いたときも、相手がなぜそう考えるのか、背景状況を踏まえて考えることで、理解したり、自分の意見が深まったりすることがあります。



今後は、この留学の経験を活かし、大学へ進学して電子工学について学び、ものづくりを通して多くの人々の助けになるようなことを目標として、努力していきます。留学をして、問題解決能力、多様な考え方、環境適応能力、英語力など、たくさんの力がつきました。このような力を今後も伸ばし、自分の将来の夢が叶えられるよう、基礎的なことから頑張っていきます。